



第71回日本聴覚医学会総会・学術講演会

ランチョンセミナー2

日時：2026年10月15日(木) 12:50～13:40

会場：KFC Hall & Rooms 第2会場 (10F Room 10A)

「変わりつつある人工聴覚器の常識」

司会：羽藤 直人 先生 (愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

「Osiaが変える難聴治療の新常識～見逃されがちな適応症例を救う～」

講師：小森 学 先生 (聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科)

「一側性難聴への人工内耳治療戦略

— 術前・術後評価、リハビリテーションおよび電極選択の重要性 —

講師：吉田 忠雄 先生 (名古屋大学医学部 頭頸部・感覚器外科学講座 耳鼻咽喉科)

近年、人工聴覚器を取り巻く診断・診療環境は大きく変化しており、適応の拡大やデバイスの進歩によって、新たな治療戦略や選択肢が生まれている。本セミナーでは、愛媛大学 羽藤 直人 先生の司会のもと、人工聴覚器診療の第一線で活躍する2名の専門家を迎え、最新の知見と豊富な臨床経験をもとに、「変わりつつある人工聴覚器の常識」をテーマとして講演いただく。

第1部では、聖マリアンナ医科大学 小森 学 教授により、「Osiaが変える難聴治療の新常識 ～見逃されがちな適応症例を救う～」と題して講演いただく。Osiaシステムの特徴や適応症例、手術手技の実際に加え、術後成績について豊富な臨床経験を交えながら解説いただき、従来は十分な治療機会が得られていなかった患者への新たな選択肢について考察する。

第2部では、名古屋大学 吉田 忠雄 先生より、「一側性難聴への人工内耳治療戦略～術前・術後評価、リハビリテーションおよび電極選択の重要性～」と題して講演いただく。SSD (Single-Sided Deafness) および AHL (Asymmetric Hearing Loss) に対する人工内耳の適応、術前・術後評価、リハビリテーションの実際に加え、蝸牛近接型電極の有用性について、実臨床に基づく知見を共有いただく。

本セミナーを通じて、人工聴覚器領域における最新の治療戦略やデバイス選択への理解を深めるとともに、日常診療に役立つ実践的な知識をお持ち帰りいただく機会を提供する。

共催：第71回日本聴覚医学会総会・学術講演会
株式会社日本コクレア



Cochlear®
Hear now. And always